



平成 30 年度から大田原市の全小中学校で、  
「子供たちの未来」を見据えた小中一貫教育がスタートします！！



来年度より大田原市内の 8 中学校区（大田原中学校区・若草中学校区・親園中学校区（\*佐久山中学校区）・金田北中学校区・金田南中学校区・野崎中学校区・湯津上中学校区・黒羽中学校区）で小中一貫教育がスタートします。それぞれの中学校区の実態に合わせた取り組みを進めるのが大田原市の特徴です。

今年度はモデル地区として若草中学校区と金田北中学校区が先行スタートしています。

\*平成30年度より佐久山中学校は親園中学校と統合します。

### 小中一貫教育って何だろう…？

小学校 6 年間と中学校 3 年間を連続的にとらえ、小学校と中学校が協力して、児童・生徒を育てることです。

9 年間を見通した長期の教育システムと、区分ごとの短期の教育システムを構築することで、教職員間の相互理解を深め、一人一人への連続した支援に取り組む、人間性や学力の向上を図ることができます。

そして、これからの社会を生きていくうえで、主体的に貢献できる実践力を育成します。

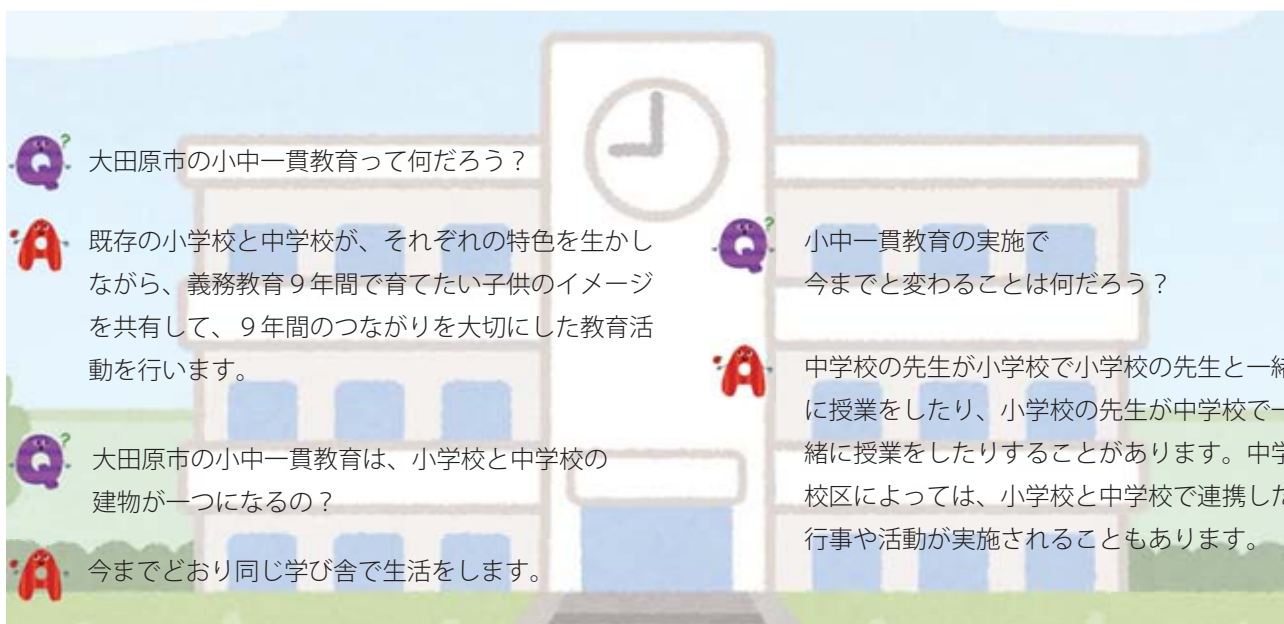
### 小中一貫教育のねらい

- ◎確かな学力
- ◎豊かな人間性
- ◎コミュニケーション力
- ◎社会適応力



### 小中一貫教育のながれ

学校	小学校		中学校
学年	1～4年	5～7年	8～9年
区分	前期（基礎期）	中期（活用・定着期）	後期（発展・充実期）
指導方法	学級担任制	一部教科担任制	教科担任制
	児童の特性を理解し、基礎基本の定着を図るとともに、技能教科では専門性を生かした指導を行います。	国算（数）理社英等の教科担任制を推進し、各教科で活用を意識した指導を行うとともに学級集団づくりを重視します。	学級集団の良さを基盤に各教科の専門性を生かし、課題発見・課題解決の過程を意識した指導を行います。



**Q** 大田原市の小中一貫教育って何だろう？

**A** 既存の小学校と中学校が、それぞれの特色を生かしながら、義務教育9年間で育てたい子供のイメージを共有して、9年間のつながりを大切にした教育活動を行います。

**Q** 大田原市の小中一貫教育は、小学校と中学校の建物が一つになるの？

**A** 今までどおり同じ学び舎で生活をします。

**Q** 小中一貫教育の実施で今までと変わることは何だろう？

**A** 中学校の先生が小学校で小学校の先生と一緒に授業をしたり、小学校の先生が中学校で一緒に授業をしたりすることがあります。中学校区によっては、小学校と中学校で連携した行事や活動が実施されることもあります。

小中一貫教育の実施に合わせ、  
中学校区でコミュニティ・スクール（**学校運営協議会制度**）を導入します。

コミュニティ・スクールとは、**学校運営協議会制度**を指します。

コミュニティ・スクールとは、学校と地域住民などが力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「**地域とともにある学校**」への転換を図るための有効な仕組みです。コミュニティ・スクールでは、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていくことができます。

### 大田原市の学校運営協議会制度の主な3つの機能

- 校長が作成する学校運営の基本方針を承認する。
- 学校運営について、教育委員会又は校長に意見を述べる
- 個人を除いた教職員の任用に関して、教育委員会に意見を述べる



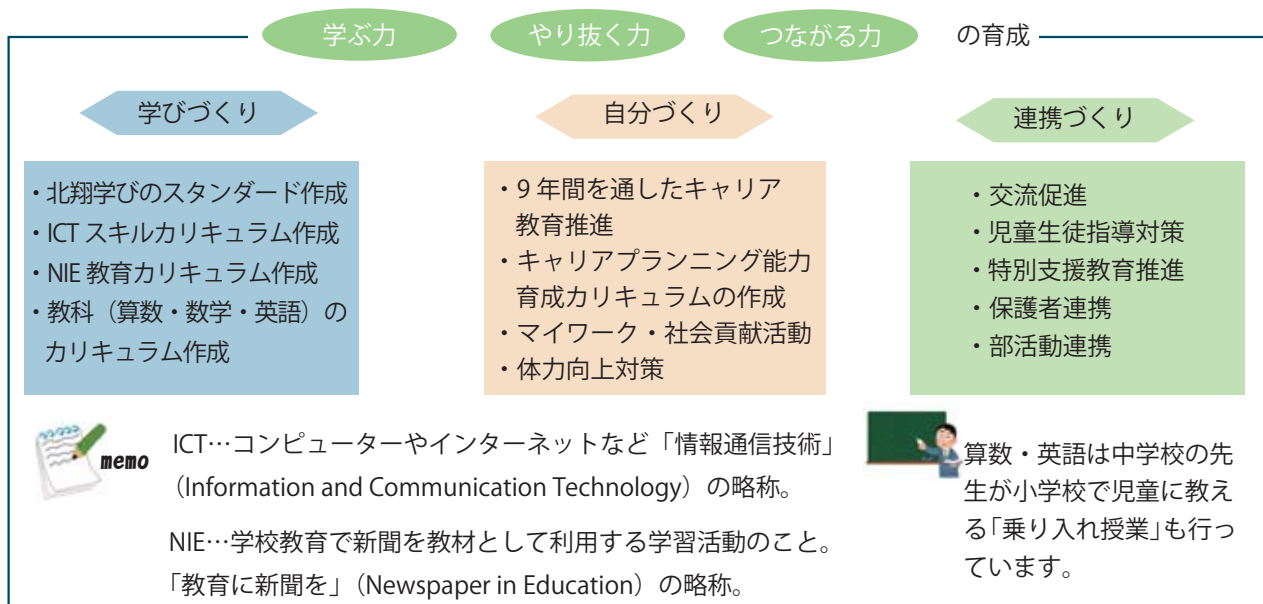
大田原市の小中一貫教育の目指す「目標」はおなじですが、取り組みの「過程」は各学校区それぞれの小・中学校が話し合いを重ね、決定していきます。

今年度のモデル校である2校は次のように学習をしています。

## 金田北中学校区

「豊かに学び 未来を拓き 社会に貢献する子ども」

ともに学び合いつながり合う学園づくり



### 「北翔学園学習スタイル」の推進

金田北中学校区（金田北中学校・市野沢小学校・羽田小学校）を総称して「北翔学園」としました。

小・中学校の職員が話し合いを重ね、授業と家庭学習をつなぐ「北翔学園学習スタイル」を推進しました。そして、学習カリキュラムの見直しをしました。算数・数学はつまずきやすいので、つながりを意識するために9年間の学習内容を整理しました。そうしたことで職員間でも新たな発見ができ、教え方に工夫を加えることもできました。その過程で、各学校の職員間の意思疎通もで

市野沢小学校 6年 <sup>ひらおか やまと</sup> 平岡 大和さん



中学生との交流や協力が多くなり、中学校の様子が分かり、役に立ちました。中学生と活動することで、来年どのように学んだらいいのか迷っていましたが、自信ができました。授業も中学生が優しく教えてくれたので分かりやすかったです。

いつか羽田小の友達とも協力して、金田北中を市内で一番あいさつができる中学校にしたいです。

き、3校が連携し協力できる体制が整いました。これにより、職員自身の指導力の向上にもつながりました。

また、学園の取り組みとして、中学生のテスト期間は小学生も合わせて家庭学習を充実させる「学力アップ週間」を設定し、学力向上を推進しました。

話し合いの中で、9年間という期間で子どもたちを教えていく重要性を認識できました。小中一貫教育はまだスタートラインに立ったばかりです。来年度、再来年度と教科・生活指導ともに工夫・改善をしていきたいです。そして、児童・生徒が過ごしやすい「北翔学園」になるよう職員一丸となって研究を続けていきたいと思っています。

金田北中学校校長 <sup>もりもと としのり</sup> 森本 俊位先生（右写真）



# 若草中学校区

目指す子ども像「学びを高め、よりよい社会を創造できる大田原っ子」

## 地域の学校を確立

- ・大田原の子として育てる学力や資質・能力を定める
- ・地域の良さを発見し、慈しむ児童生徒の育成
- ・市行政区や公民館などの諸団体との交流活動推進

## 確かな学力の育成

- ・9年間の学びをつなぎ、連続した学習ができる環境や学習内容の構築
- ・主体的な学習の実践
- ・実社会に通用する英語力の育成（英検の推奨）

## これからの社会を切り開く社会人の育成

- ・地域との交流を通して実社会のしくみを体験します。
- ・より学習を深め、諸問題に柔軟に対応できる力の養成
- ・使命を最後までやり抜く体力の養成

こんなことやってます

- 算数は教科担任制を採用 …担任のほかに補助教師も配置し、進度についていけない児童たちへの補助を行う。
- イングリッシュデーを採用 …ALTの下で児童と生徒が協同して英語の勉強をする。生徒は児童に教えながら学べる
- 放課後学習の展開 …中学校では放課後から午後6時まで自習室として開放



おおたわら 尾畑 宏先生  
若草中学校校長

## 「本当の学力」の確立のために

大田原小学校・若草中学校では、「学びを高め、より良い社会を創造できる大田原っ子」の育成を目指しています。そこで、義務教育本来の目的である「学力の保証」を前面に打ち出しました。

小中一貫教育を進めて特に大切に感じた事は小中間の協力体制確立です。深澤校長をはじめ大田原小学校と若草中学校の先生が、子どもたちを育てるために授業でも、研修でも、交流活動でも活発に意見交換をして、より深い関係を結べました。その結果、小中一貫教育の柱である9年間を見通したカリキュラム作成とその理解が十分なされ、良い結果を生んでいると思います。

一小一中の良さを生かし、教員の「乗り入れ授業」やTT授業を数多く実施しました。特に力を入れているのが算数と英語、体育です。文科省が小中一貫教育を進める背景の一番に挙げたのが、児童の心身の早熟化です。小学校高学年の時期から専門の先生に授業を教わることで、教科の面白さに気付いてもらいたいと考えています。

また、市教育委員会の支援体制も素晴らしいです。すべての学校へのタブレットPC導入や、英検3級受験者への補助制度など、他の自治体では望めない支援です。おかげで、中学3年生の英検3級取得率は54%に達しました。



先生間の交流が増えたことで、授業も以前よりわかりやすくなった気がします。

また、地域に開かれた文化祭では、自分たちが楽しむだけでなく、来てもらったお客さんに楽しんでもらうことにも重きをおきました。研究のために、都内の高校の文化祭にも足を運んで、「魅せ方」

を学びました。創意工夫を凝らして、当日は最高の出し物を披露できました。

3年  
のざき 野崎 佑介さん

